



第72号

●主な記事

平成29年度同窓会総会開催
支部・同期会・OB会だより
母校近況・寄贈図書

平成29年12月15日発行
一般社団法人 長野高等学校金鷄会
事務局 ☎(026)235-3822
発行人 加藤 久雄
編集人 桃林 聖一
.....
URL
<http://www.kinshi.org>
E-Mail
dousoukai@kinshi.org

「長高緑の基金」のお願い

金鷄会館前の松の木が、内側の枝の葉先から枯れ始め、しだいに茶色の松葉が目立つようになっていました。さいわい松枯れ病ではないようですが、木が茂りすぎて陽が差し込まず、風通しも悪いため、樹木が弱ってしまっているとのこと。本来なら、県で予算措置してほしいところですが、財政的に難しく、同窓会で維持管理していくほかありません。松は金鷄会館前だけで12本あり、その他、桜並木のソメイヨシノもそろそろ寿命を迎えようとしております。今年度については60万円以上、来年度以降も毎年10万～20万円程度の経費がかかりそうです。

今後の管理については、高20回の造園業者である「おらが園(長野市)」さんをお願いすることにしました。長野高校の緑の環境と景観を守るために、同窓生の皆様から



のご支援をお願いします。趣旨にご賛同いただける方は、下記の同窓会口座宛に送金をよろしくお願いします。その際、メール・電話等で「長高緑の基金」とご指定ください。

八十二銀行 長野北支店 普通 133722

一般社団法人長野高等学校金鷄会

長野信用金庫 城北支店 普通 0031958

一般社団法人長野高等学校金鷄会

ゆうちょ銀行 00560-1-49992

一般社団法人長野高等学校金鷄会



鬱蒼として、一部が変色しています。



「おらが園」さんに剪定してもらい、すっきりしました。

定時制学年幹事募集

長野高等学校金鷄会学年幹事会は同窓会の最高議決機関として位置づけられ、今年度においては高9回～高49回の41学年より3名ずつ代表を選出してもらっております。今回、この学年幹事会に定時制の方にも加わっていただける体制を作ることが承認されました。

長野高校の定時制は現在、全校在籍数50名余となっておりますが、これまで2,100名余の卒業生を社会に輩出してきました。今でも長野高校に愛着を持ってくださる同

窓生は多く、会費や募金の納入などにも積極的に協力してくださっていますので、ぜひ同窓会の学年幹事にも加わっていただきたいと考えております。

現在、高23回と高24回の2名の方に学年幹事として就任していただいておりますが、さらに5名程度の定時制学年幹事を迎えたいと考えます。ご協力いただける方はぜひ事務局までご連絡ください。

学年幹事会・同窓会総会開催

期 日 平成29年6月24日(土)
場 所 長野市県町 ホテル国際21
出席者 学年幹事会 107名(委任状を含む)

◇平成28年度決算・平成29年度予算

○収入の部 (単位:円)

科 目	平成28年度決算	平成29年度予算	備 考
正 会 員 会 費	13,668,000	13,500,000	
準 会 員 会 費	2,334,600	2,322,000	
特別会員会費	24,000	20,000	
寄 付 金	695,463	200,000	
貸 室 料	2,738,427	2,500,000	
市 民 大 学	48,000	80,000	サイエンスカフェ
雑 収 入	237,291	200,100	利息・購買
貸付金返済収入	800,000	800,000	長野高校PTA
そ の 他	415	400	
前 期 繰 越 金	3,979,171	6,191,127	
合 計	24,525,367	25,813,627	

◇学年幹事会議事

- 第1号議案 平成28年度事業報告・決算報告承認・監査報告
- 第2号議案 平成29年度事業計画・予算案承認
- 第3号議案 平成29・30年度理事・監事の選任
- 第4号議案 定時制学年幹事について
- 第5号議案 長野高校創立120周年事業について

◇平成28年度事業報告・平成29年度事業計画

1. 会館維持運営事業
2. 旧制中学校資料収集事業
3. 高校生の国際理解涵養事業
4. 市民大学開催事業
5. 貸室事業
6. 池田満寿夫ギャラリー事業
7. 同窓会事業
 - (1)会報「日新鐘」の刊行
 - (2)支部・同期会・OB会への協力
 - (3)ゴルフコンペ (4)在校生への援助 (5)購買
 - (6)日新館事業 (7)結婚相談室
8. 総会、理事会、各種会議の開催
平成29年度の事業計画は平成28年度に準じる。

◇同窓会総会

当番回期 高34回・高46回・高58回

◇学年幹事会・理事会報告

◇記念講演会

演 題 経済誌元編集長の見た日本の企業
講 師 株式会社東洋経済新報社
総務局次長兼人材開発部長
大滝 俊一氏(高34回)

◇懇親会

○支出の部 (単位:円)

科 目	平成28年度決算	平成29年度予算	備 考
会館運営事業	4,442,199	4,615,600	給料・通信費・補修費等
旧制中学校資料収集事業	0	30,000	
国際理解涵養事業	185,000	210,000	生徒アメリカ国連研修
市民大学事業	110,004	134,000	サイエンスカフェ
同 窓 会 事 業	6,814,976	6,640,000	会報発行費・教育奨励費等
管 理 費	4,581,839	4,911,000	人件費・光熱水費・火災保険等
退 職 金 積 立	100,222	100,000	
会館設備補修積立	100,000	100,000	
創立120周年事業積立	2,000,000	2,000,000	
予 備 費	0	50,000	
次 期 繰 越 金	6,191,127	7,023,027	
合 計	24,525,367	25,813,627	

母校近況

● 羽球班

顧問 渡辺 勤

羽球班は現在2年生13人、1年生12人の計25人で活動しています。経験者は6人で、19人が高校から始めた生徒たちです。できるだけコートでの練習を増やしたいと思っておりますが、平日はコートが2面しか使えない状況で、地道にトレーニングや基本練習を重ねています。高校から始めた生徒たちも徐々に力をつけて、2年生は試合で少しずつ戦えるようになってきました。1年生はまだこれからといったところです。

女子は力のある選手がおり、6月の県大会では団体ベスト8に入り、ベスト4をかけた試合では、あと一歩というところまで相手を苦しめました。12月上旬に行われる新人戦県大会では団体ベスト4以上を、個人戦では北信越大会・全国大会を目指してほしいと思っております。

近年、日本のバドミントン選手が世界で活躍するようになり、高校でもバドミントン人気が高

まっているように思います。指導者としては喜ばしい状況だと思っています。早い者は小学生から競技を始め、高校に入るところにはかなりのレベルに達しています。また、高校から始めた初心者も大勢います。この状況で、いかに効率よく、いかに全体のレベルアップを図るか、日々頭を悩ませています。



● 管弦楽班

2年 小山賢太郎

私たち管弦楽班は、1年生13人、2年生13人の総勢26人を、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの弦楽器で構成し活動しています。毎年8月には、金鶏会館で行われている管弦楽班OB会にも参加させていただいております。今年度はA.ヴィヴァルディ作曲「4つのヴァイオリンとチェロのための協奏曲」を演奏させていただきました。OBの方々には、いつも心温まるご支援や言葉を賜り、心より感謝しております。

私たちは、8月の全国高等学校総合文化祭「みやぎ総文2017」に、長野高校が中心となる長野県選抜オーケストラの一員として参加してきました。来年は、この大会が長野で開催されるため、「2018信州総文祭」としてPRも行いました。現在は、その「2018信州総文祭」に向けて、生徒実行委員会を中心として本格的に準備を進めております。

12月には東京の日本青年館において、第24回全国高等学校選抜オーケストラフェスタが開催され、管弦楽班は22回目の常連校として参加してきます。先輩方の良き伝

統を引き継ぎ、全国の舞台で精一杯演奏をしてきたいと思っております。

そして来年3月17日には、第38回定期演奏会を長野市芸術館で行います。メインプログラムでは、J.ブラームス作曲「交響曲第1番」を演奏します。多くの先輩方に足をお運びいただければ幸いです。

管弦楽班は、台湾との学校交流、小学生向けの学校説明会、慰問演奏やパーティーでのBGM等、各種演奏にも積極的に協力しております。出張演奏をする機会がありましたら、お声かけくださいますよう、よろしくお願いいたします。

今後とも管弦楽班に対し、一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



支部・同期会・OB会だより

吹奏楽班甲子会

～甲子園初演奏55周年記念甲子会開く～

吹奏楽班甲子会は6月4日(日)、長野駅前油やで25回目の懇親会を開きました。会の原点である甲子園での初演奏から55年という節目の年にふさわしく、14回から18回まで総勢16人が集い、高校時代の熱い日々を思い起こしつつ、熱気あふれた一夕を過ごしました。

当日午後行われた現役の定期演奏会を聴いた人が大半とあって、開会前から盛り上がりを見せる中、清水さん(17回)の進行で会がスタートしました。最初に宮島さん(15回、当時班長)が「多くの人が集まり、賑やかにやれることを喜んでいる」と挨拶、そして昨年急逝した小出さん(15回)と宮沢さん(17回)の冥福を祈って黙祷を捧げ

ました。

毎回様々な話題がある甲子会ですが、今年の特筆事項は15回の市川さん(当時指揮者)が初めて出席されたこと。卒業以来50数年ぶりの再会という人がほとんどで、体形こそ半世紀前とは大違い?でしたが、ひとたび言葉を交わすや、たちまち高校時代の記憶が蘇るのでした。15回生は、前夜湯田中温泉で市川さんの〆歓迎会、を行ったとのことで(送迎役を命じられたのは16回の古川さん)、実に長丁場の甲子会になったようです。また、首都圏在住の17回生3人(高久、中沢、松木さん)や16回の深沢さん、18回の伝田さんが久しぶりに出席、さらに14回の先輩、轟さん、山崎さんも昨年に続いての参加で、近年にない多彩な顔ぶれとなり、その分話題も豊富でした。25年も続けていると話のタネも尽きそうですが、初めて耳にするというような話題も飛び出し、誠に高校時代というもの人生の中でも特別な時期なのだと感慨もひとしおでした。

吹奏楽班活動をきっかけに音楽にのめり込み、大学でオーケストラ、就職はレコード会社、そして今も自ら起業した音楽制作会社の代表という市川さんを筆頭に、吹奏楽連盟の要職に就いている、吹奏楽団やジャズバンドに属して演奏活動を続けている(複数のバンドかけもちという人も)、長いブランクのあと、定年を機に再び楽器を手にして、ボランティアで施設訪問をしている(亡くなった宮沢さんもそんな一人でした)、ジャンルを問わずコンサートに足繁く通っている等々、関わり方は様々ですが、皆が音楽と縁が切れないようです。また、音楽以外でも、地域の自治活動や団体を力を発揮したり、趣味三昧に生きたりと、70歳を過ぎてもなお元気な日々を送っている様子がそれぞれの口から語られました。甲子会の存在



がその元気に一役買っていることは、「(この人たちと) 毎日会うのは負担だが、たまに会うとリフレッシュする」と言った某氏の言葉に表れているようです。

最後は校歌「山また山」を歌いながらの記念撮影、そして「南下軍」「凱歌」を高らかに歌って会を締めくくりました。

(高17回 丸山憲司)

高3回 平成29年度同期会



昨年度の同期会において、今年度の同期会世話人を引き受けた和田勇・北島悟の両名と、昨年度の幹事長倉嶋康氏を相談役に、そして後日、佐藤一郎君が世話人を引き受け、第1回打ち合わせ会議を12月19日(月)同窓会館において開催し、平成29年度同期会を上諏訪温泉「ホテル紅や」にて実施することを決めました。

世話人代表を佐藤君、事務方一切を和田君、会計を北島が担当。1泊3食観光付で会費は県内者1万5千円・県外者1万4千円、開催日を5月29日(月)・30日(火)に決定し、開催の運びとなり、参加者は県内11名、県外14名の計25名と、ほぼ予定人員に達しました。

当日は、県内者を中心に長野駅より迎えるマイクロバスにて、途中「御柱の木落とし坂」を上部より見学、下社を参拝し、大社煎餅を土産に購入、ホテルに到着。県外者の皆様は殆どが電車を利用し、ホテルに直行しました。

16時30分より総会を開始。司会進行を北島が担当し、佐藤世話人代表が挨拶、和田君より事務全般と、この1年間の物故者が報告されました。

最後に来年度の同期会開催についての意見を聴取、県内組の新津幸男君・中村博志君が終了の発言。京都より出席の小林博君始め県外者が継続を希望され意見が真っ二つに分かれました。挙手にて採決したところ継続が15名と6割を占め、今年度の世話人に下駄を預けて総会が終了。相談役・世話人3名が話し合った結果、採決を尊重して年齢は顧みず来年度も実施することを決めました。

18時30分より懇親会に入り、冒頭来年度の同期会を15名以上の参加を条件に、開催することを発表。

物故者に黙祷を捧げ、小幡和夫君から東京地区の状況報告。大阪より参加の嶋倉宏君の乾杯の音頭で祝宴に入り、飲むほどに酔うほどに座が盛り上がりました。新津君の「同期の桜」を皮切りに、カラオケが止まることなく続き、小林博の指揮のもと校歌「山また山」を3番まで斉唱。締めくくりは相談役嶋倉君の音頭で万歳三唱、お開きとなりました。

翌日は9時にホテルを出発、高島城見学後コンビニで熱中症予防のお茶を各人に購入、ガラスの里にて買い物済ませ上社を参拝しました。バスに乗車後、北島が今村哲氏から多額のご芳志があったことを報告。宮下寿夫君が春の叙勲を受けたことを紹介し、本人より挨拶を得た。途中「真澄本舗」に立ち寄りホテルに戻り、昼食後マイクロバスにて上諏訪駅を経由長野駅に無事帰着。楽しかった同期会の全てが終了しました。

諸兄のご協力に感謝申し上げます。(世話人 北島 悟)

籠球班OB会総会

6月17日(土)、原良通校長先生、相澤昌輝先生を来賓としてお迎えし、「平成29年度籠球班OB会総会」を開催しました。原哲夫氏(S28卒)、松木茂隆氏(S31卒)、大橋隆男氏(S32卒)、岡田文男氏(S32卒)、松井忠夫氏(S32卒)、桑原郁男氏(S32卒)をはじめ平成23年卒まで幅広い年代から29名の参加がありました。

開会にあたり松岡憲四郎会長(S40卒)から、「今年は籠球班創立90周年を迎え、諸先輩方が築いてきた輝かしい歴史と伝統に思いを馳せるとともに、現役の一層の活躍を期待し、現役への支援と会員の親睦を深めるため、OB会活動を活性化させていきたい」との挨拶がありました。

議事では、平成28年度事業報告、90周年記念事業を盛り込んだ平成29年度事業計画案が全会一致で承認され、役員改選で松岡会長、北澤和基副会長(S39卒)、塩入信一副会長(S45卒)が再任されました。





高34回

引き続きの懇親会では、冒頭に原哲夫氏から90周年を迎えたことから籠球班創生期から戦後にかけて特筆すべきご活躍のあった瑞穂春海氏（S3卒）など大先輩方のご紹介がありました。限られた時間の中ではありましたが、親睦を深め最後に恒例の籠球班班歌を合唱し、現役の県大会優勝、会員の健康を祈念しつつ閉会しました。

【ご連絡】 来年の現役とOBの交流戦は、1月3日に長野高校体育館で「籠球班創立90周年記念大会」として開催します。これまでと開催日が違います。ご注意ください。交流戦終了後、午後4時からメルパルク長野において新年会を開催します。参加連絡は不要です。多くの参加をお待ちしています。（平成4年卒 小原克彦）

演題で講演をいただきました。大滝氏は元週刊東洋経済編集長でもあり、その講演内容は、混迷を深める現在の日本において私たちが何を考えどう動くべきなのか、示唆に富んだものでありました。

続いて行われた懇親会は例年通り大きな盛り上がりを見せました。期を超えた交流は、長野高校卒業生としての一体感を再認識するものでありました。今回、歓談の時間をより多く確保することを目的とし（同期に適当な人材がいなかったことも大きな理由ではありますが）、恒例であった冒頭のアトラクションを割愛させていただきました。ご意見があれば次年度へ引き継いで参りたいと思います。

引き続き、34回卒業生による同期会を開催いたしました。140名を超える参加者に加え、3名の先生方にもご出席いただくことができました。近況報告や昔話に花が咲き、近いうちの再会を期して散会となりました。

多忙の中運営に尽力いただいた幹事の皆さん、的確なサポートをいただいた事務局の桃林先生、池田さんに深く感謝申し上げます、総会のご報告といたします。（宮本和弥）

高34回 金鷄会平成29年度総会報告

6月24日（土）、平成29年度金鷄会総会が長野市のホテル国際21にて開催されました。本年度は私共高34回卒業生が主幹事を務め、サブ幹事として高46回卒業生の皆さん、当日は次年度主幹事の高35回卒業生の皆さんにお手伝いいただきました。

総会では、理事会・学年幹事会で承認された議案が報告されました。学校長の原先生からのご挨拶もあり、現在の長野高校の置かれた状況を理解することができました。

記念講演会では、週刊東洋経済新報社総務局次長兼人材開発部長の大滝俊一氏（高34回）に「経済誌元編集長の見た日本の企業」という

高10回 第29回東京山々会総会

7月7日（金）、昭和33年卒にちなむ同期会「山々会」の東京地区総会を東京九段ホテルグランドパレスで開催した。参加者は45名。喜



高10回



寿を越えると急な欠席もあるが、長野からも7名の参加があり盛会だった。当番クラス9組の細野征男君が司会し、はじめに峯村公雄君の先導で同期90名の物故者を悼み黙祷を捧げた。笠原忠興会長が開会挨拶に併せ、授業もどきに出席者を呼名する趣向で盛り上げた。長田信一君による会計報告の後、野村元久君の東京長高会報告をほさみ、増田清志君の乾杯音頭で会食・歓談に移った。

集いも会を重ねると代わり映えしなくなる。今年の工夫はあらかじめ募ったスピーチである。3分間の制約もなんのその、互助の精神で静聴できたのは上首尾であった。遠来に敬意を表し長野組の話題を紹介する。山口光昭君は恒例の「母校の近況」で、SGH指定校としての活動や生徒の動向などを報告した。「トランプの対メディア評価は正しい」とは記者OBらしい柄澤英一郎君の警句である。中澤裕君は資料を配り「川中島一騎討ちの真相」で聞かせた。太田光弘君は「幹事皆さんへの感謝」で裏方の献身に対する会員の総意を代弁してくれた。閉会挨拶は中村直靖君。須田荘一郎君が「会員の消息発信基地継続」を要望し、慣例の応援団様式による「信濃の国」、校歌、エールで締め、再会を期して散会した。

「山々会」も30周年を控え、在り方を問う声もある。

(文・写真 中澤 敬)

おむね好評のようです。

出席者は43名でしたが、「体調不良」を理由にした欠席が年々増えて、かつては120名もあった出席者が年々減っているのはしかたないこと。物故者も年々増え、恩師に出席していただくこともなくなって寂しいことです。

例年通り、最初に記念撮影をしてから総会に入りました。若麻績侑孝会長の挨拶、昨年惜しまれつつ逝去された故廣岡男也副会長の後任の宮崎忠昭副会長による昨年度の事業報告、宮澤彰副会長の会計報告、そして柳沢正則幹事の会計監査報告で無事総会は終了し、北村定東京北七会会長の乾杯の音頭で懇親会に入りました。

小沼(旧姓井原)文子さんが、京都で恩師の高山次嘉先生(御年86歳)の若々しいお姿にお会いした報告などもあって、宴は盛り上がりました。最後に校歌を歌い、来年もまた元気で再会できることを願って散会しました。その後、お茶をしながら三々五々旧交を温めたグループもあったようです。

昭和55年に創刊号が発行された会報「北七」は今年で第38号を数え、同期会も休むことなく未だに毎年開催されていることは会員としてうれしく、また誇りに思います。(湯川充代子)

高7回 同期会

平成29年の「北七会」(長野北高等学校第7回卒業生同期会)の総会は、7月8日(土)に昨年同様午前11時半から犀北館で行われました。夕方からの開催に戻してほしいという声もあるようですが、遠方から出席される会員も日帰りができるということで、昼間の開催はお

近畿長高金鷄会 総会・懇親会

7月8日土曜日、天満キャッスルホテル3階の錦城閣で開催される。35名出席。小林会長の挨拶に始まり、平成28年度活動報告及び会計報告、平成29年度活動計画及び会計計画が発表承認される。平成29年度の新たな取り組みとして、グルメ会の開催、麻雀同好会の計画が発表される。楽しみが増える年度になると期待される。



乾杯、金鷄寄稿者の紹介、初参加者の紹介があり、初参加者のスピーチから口火が切られる。

初参加の高32回・樋口隆教氏。現在長野県大阪事務所長。県の観光PR、産業立地、農産物のPR等仕事内容の紹介がある。県庁金鷄会での失敗談、当時、氏は秘書課に所属していた。高校時代の先生で、あだ名がシャモジ、サンダーバードと称された名物先生の逸話が紹介される。

初参加、高17回・小林正子氏。氏は高13回・小林剛氏の細君である。夫の剛氏が病氣回復後ということもあり、付き添いで参加されたとのこと。45年前のなれそめの秘話、因縁を話されたり…ご馳走様でした。人の縁というもの不思議であると改めて思いました。

高15回・大西修氏。9年の大阪暮らしから本年名古屋で牧師を務めているとのことで、日曜のミサは欠かさないとのこと。

高18回・酒井明人氏。東京から関西に来て4年が経った。昨年は長野高校の同窓会に参加したとのこと。また、5年ごとに開催している中野小学校同窓会で松代へ出向いたことなど故郷長野詣での多い年であった、と長野を懐かしむ話をされた。

高18回・今井稔夫氏。京都で造園業を営む。孫5人に囲まれ、心豊かな人生を送られている様が想像させられる。

高23回・石井新氏。奈良県富雄で産婦人科医院を営む。今年から週3回の勤務となり、余暇を楽しむ時間ができたとのこと。初めて人間らしい生活を味わっている、との話が印象的でした。

以下各テーブルで歓談が続く。

同期会、ハイキングの開催等の連絡があり、中でも高28回・村松徹也氏から、細君と行かれた京都府舞鶴港から釜山等を回る日本海クルーズ5泊6日、全食込1人8万円の魅力的な紹介があった。

最後は記念撮影、校歌「山また山」を合唱し、散会となった。

(高23回 野池 徹)



充実していた趣味のスキー、教頭として対外交渉で大変だったこと、校長としての責任、退職後の私立高校での生活、幼稚園長としての幼児と若い職員との思い出、80歳まで頼まれた講師生活等々。お話は、まさに定年退職を目の前に控えた現在の私達に最も役に立つ最高の授業でした。健康に留意して、社会のため自分のため家族のために、それぞれの道を全うすることの大切さを教えていただきました。

二次会にも全員が参加し、最後には再会を約束してお開きとしました。当日の全員の表情が、同級会の雰囲気を表していると思います。

数年後に、また会いましょう。

(柳澤幸弥)

松本金鷄会

「第6回松本金鷄会」が7月25日(火)松本市のファイブ・ホルンにて、36名の同窓の皆さんが集まり開催されました。

以前からの参加者の皆さんによる職場や同業のお仲間へのお声掛け、また最近恒例ともなりました「日新鐘」の当会開催記事のお陰もあり、高8回から高65回までの幅広い年代が一堂に会しました。

開会に際して、松本金鷄会会長、(株)市民タイムス代表取締役社長の新保力さん(高11回)からご挨拶をいただき、副会長の(株)五千尺代表取締役会長の藤澤繁雄さん(高11回)の乾杯で開宴となりました。

当会の特長として、年会費をいただいていないということがあり、皆さんには誠に気軽に自身の家に帰るかのように参加いただいております。異動をご縁とした交流が盛んなことも当会のもうひとつの

高32回 梨本先生を囲む8組の同級会

梨本雄三先生82歳、私達55歳。当時、先生45歳、私達18歳。

恩師5回生とその教え子32回生が総勢20名で、7月15日(土)に長野駅前ホテルで同級会を行いました。先生は80歳まで教壇に立てられて国語を教えられ、完全に教職を辞して3年目。心身ともにお若く、教え子の方が髪の毛が寂しくて、全員で写真を撮れば、誰が恩師で誰が生徒か分からないぐらいでした。

卒業以来会っていなかった同級生との再会は、37年の年月を超えて感慨深いものがありました。皆あの頃の面影を残しており、高校時代にすぐにタイムスリップして、当時の思い出話を花を咲かせたり、近況報告をして友情を確かめました。年齢的に、長年勤めていた会社を退職して、新たな職場で新たなビジネスに挑んでいるという特徴が見られました。

梨本先生からは、私達を卒業させた後の37年間の軌跡を、主な出来事について冗談を交えて語っていただきました。進学校から一般の高校へ赴任した時のギャップの大きさ、単身赴任先での生活、





特長で、今回は年度越えによる人事異動の後ということもあり、新たに11名の出席をいただきました。今回はアルピコホールディングス(株)代表取締役社長に就任された曲淵文昭さん(高25回)もご出席いただき、ひときわ賑やかなひとときとなりました。

結びに副会長の(株)日本広告代表取締役社長の池田紀夫さん(高11回)による中締めのご挨拶をいただき、応援団OB山岸利行さん(高31回)によるエールに続き「山また山」の合唱で散会しました。

松本金鷄会は、冒頭に記しました通り幅広い年代のご参加による柔らかな集いです。松本にて大いに「山また山」を歌いましょう。

第7回は平成30年2月頃開催の予定です。(高31回 金子智雄)

力することを確認しました。

話が弾み、笑いも絶えないあつという間の3時間。当時の応援団長の宮澤里志君(3組)がリードし、校歌「山また山」を斉唱。そして万歳三唱で宴は幕を閉じました。話は尽きず、全クラスが同じ会場で行った二次会には100名が参加。当然三次会、四次会へと…。

最後にこの場を借りまして、金鷄会をはじめ、この卒業30周年記念同窓会の開催にご協力いただいた多くの皆様へ厚く御礼申し上げます。

今回の同窓会の写真は、専用サイトで共有が可能となりました。今後の情報交換の場のひとつとして生かしていければと思います。

(幹事代表 6組 花岡秀則)

高39回 卒業30周年記念同窓会

8月12日(土)、長野市のホテルメルパルク長野において、高校39回卒業30周年記念同窓会が盛大に開催されました。当日は、松田貞盛先生、清住宗広先生、藤澤一郎先生の恩師3名にご出席いただき、同窓生144名が集まりました。

司会は古屋(旧姓北澤)浩子さん(6組)が務め、当時の生徒会長の花岡信太郎君(2組)の乾杯により開宴しました。ご挨拶では体調がすぐれない中でもご出席いただいた藤澤先生をはじめ、3人の先生方からそれぞれ激励の言葉を頂戴いたしました。

私たちの多くが応援に駆けつけた1985年春の甲子園。当時のメンバーで、母校の野球部監督を務めている宮崎俊彦君(8組)からは、最近では公式戦はもちろん学業の成績でも注目されていることなどが報告されました。

しばらくの歓談の後は「全員握手会」。参加者同士、必ず1回は握手をして簡単な言葉を交わすという趣向で、会場全体に和やかなムードが一層広がりました。ステージ上で行われた記念撮影では、クラス単位はもちろん、クラブ活動、さらには出身中学など様々な形で集まり、思い出話や近況報告などで旧交を温めました。

また、今回は母校のPTA役員を務める山崎浩二君(4組)から、金鷄会館の景観整備に向けた募金について趣旨説明があり、全員で協

管弦楽班OB・OG会

8月13日(日)、金鷄会館において今年も管弦楽班OB・OG会が開かれました。今回OB・OGの演奏曲として選ばれた曲は、チャイコフスキー作曲、桐山建志さん(高38回)編曲の「くるみ割り人形」。「無謀で挑戦的」といわれながらも、桐山さんによるご指導の下、午前中に練習を行い、万全に近い準備(?)をして本番に備えました。

午後1時15分より会がスタートし、現役生を含め約50名が集まりました。最初の「くるみ割り人形」は、それぞれの楽器の持ち味と経験知が活かされ、「無謀」に終わることのない演奏となりました。次の現役生による演奏は、ヴィヴァルディの「4つのヴァイオリンとチェロのための協奏曲」でした。若々しく、かつ貫禄のある素晴らしい演奏でした。次に、山本昇先生(高5回)による指揮の下、現役生とOB・OGの合同で、モーツァルトの「ディベルティメント3番」と校歌が演奏されました。校歌「山また山」ではそこに歌声も加わり、素晴らしいハーモニーとなりました。その後の懇親会では、同じテーブルのピザやお菓子などを囲み、OBによる音楽の余興と、昨年引き続き、現在落語家として活躍する快樂亭狂志(高33回・中村雅則)さんによる落語が披露されました。会場は和やかな笑い感動に包まれました。



今年も、このように管弦メンバーが世代を超えて親睦を深めることができ、とても有意義な会となりました。来年はさらに参加者を増やし、この絆をつないでいけたらと思います。

(高54回 村山美耶子)

加を希望する年代の方々は、ブログを通じて声をかけてください。

(高32回 幹事 柳澤幸弥)

弓道班同窓会

8月12日(土)、長野駅前の居酒屋で、高29回生～高35回生まで計7学年にわたる弓道班の同窓会が行われました。

5年前は5学年で開催したものを、2学年分広げて開催しました。7学年となると、一緒に練習をしていない先輩後輩も大勢おり、打ち解けるまでは多少時間が必要でしたが、ちょうど初代の女性班員が現れ、次第に女性が途切れることなくいるという現在までの基礎を築いた年代であり、感慨もひとしおでした。

30年以上会っていなかった仲間との再会は懐かしさが一杯で、全国各地、海外からも参加してきて、当時の思い出話に花を咲かせ、近況を報告し合いました。あの頃、顧問を務めてくださった田川先生?も話題となり、「そっくりだね」という高29回生の先輩方の感想で、歴史は引き継がれていくということを認識しました。

一次会の最後には、校歌を歌い万歳で締めましたが、調子に乗って春歌を歌い始めた一部の先輩方を、全く別世界の人達を見つめるようにしていた後輩の女子班員達が目撃されました。

当日の様子は、「長野高校弓道班同窓会」で検索しますと、ブログで見ることができます。5年後にも開催を予定していますので、参

高49回 卒業20周年記念同窓会

高49回卒業20周年記念同窓会を8月13日(日)ホテル犀北館にて開催しました。参加者は恩師や来賓を含め、北は山形、南は福岡から総勢約130名の皆様にご出席いただきました。当日は中澤輝氏(NHK放送センターアナウンス室所属・高49回)に司会・進行を担当してもらいました。

はじめに、学年幹事代表として小林泰明の挨拶からはじまり、開催記念セレモニーとして、出席者一同から今年度の卒業生に向けて記念品贈呈式が行われました。恩師代表の飯島彦太郎先生からは、貴重なお言葉を頂戴しました。乾杯は広田昌彦先生による軽快なトークにより場の雰囲気を大いに盛り上げていただき、歓談に入りました。

当日は、クラスの枠を超えた交流が多くみられました。クラス単位で設定した席に留まらず、会場全体を動き回り、20年ぶりに再会した旧友や恩師との再会を祝し、楽しんでいただけました。尽きることのない思い出話や近況報告により2時間はあっという間に過ぎてしまいました。校歌「山また山」の斉唱を行い、両沢文夫先生による締めのお言葉で一次会はお開きとなりました。

その後、同ホテルで開催された二次会は、当初の申し込みを大きく上回り、当日参加申し込みを含め約80名の皆様にご出席いただき





ました。恩師の先生方も引き続きご参加いただき、多くの出席者に幹事も感激した次第です。二次会は一次会を上回る盛況ぶりです、それぞれ会話に花を咲かせていました。

最後に、ご出席いただいた先生方、同級生の皆様、昨年度幹事長の竹内克斗氏(高48回)、次回幹事長の野村和正氏(高50回)、金鶏会の桃林事務局長、そのほかご助言・ご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今回、金鶏会の住所録を元に同窓会のご案内をさせていただきました。「日新鐘」が届いていない同級生をご存じの方は、金鶏会事務局まで連絡していただくようお願いください。幹事一同10年後の再会を楽しみにしています。

(学年幹事 小林泰明・小林大登・長峯光子・福田文康)

高29回 卒業40周年記念同期会

高校卒業40年の年、奇しくも同期の原良通君(6組)が母校の校長に着任。記念の同期会を8月15日(火)に開催したところ、急な呼びかけにもかかわらず、70人を超す同期生が参集。旧交を温めるとともに、原校長を励ます事ができました。また、出欠の際には母校の「松の再生」募金をお願いしたところ、これまた、多くの方々にご協力をいただき、この場をお借りし御礼申し上げます。

同期会は、原校長の母校の状況報告からスタート。女子生徒の多

さや、少々大人くなった後輩たちの紹介に、驚きの声も度々。その後は、校長の乾杯で宴会へ突入。同期会は5年前の同窓会幹事年以來の開催ゆえ、クラスごとや班ごととあちこちで輪が拡がり、思い出話から近況報告まで。また、還暦直前の世代ゆえ、健康自慢から第2の職場探しの話題まで、これまた様々な輪ができ、2時間はあっという間に。

結びは応援歌と校歌。最後は「フレイフレイ長野」、そしてさらに大きな声で「フレイフレイ原」で終了。原校長に母校の発展、そして松の再生を託し、権堂へ向かったのです。(加藤二佐雄)

邦楽班OB会「ほおづきの会」40周年祝賀会

ほおづきの実が色づくころ、演奏会を開こうと、年に1回開催してきた会が今年40回になりました。最初のころはまだ多くが大学生だったこともあり、ポスターやチケットを作り、練習を重ねて、かなり充実したプログラムでの演奏会でした。今では現役学生がおらず、班活動は休止状態です。それでもなお、OB会として活動を続けてきました。

今年は8月15日(火)にホテル信濃路において、無事演奏会を開催することができました。会員の中にはプロとして活動している者、久しぶりに箏や尺八に触れて邦楽を楽しんでいる者、宴会目当てに参加する者と様々ですが、数回の合同練習を経て演奏会に臨みまし





た。演奏の出来は定かではありませんが、高校での班活動を思い起こすには十分満足できる内容でした。

新年会と演奏会は、年2回OBの集まる貴重な時間です。顧問の青木布江先生、梨本雄三先生もご健在で、我々の活動を見守ってくださっています。

今回10年ぶりに全会員109人に連絡を試みましたが、残念ながら宛先がわからず返ってきてしまった葉書がありました。邦楽班OB会はグループメールでつながっています。お近くの会員に連絡を取ってみてください。

私たちは、これからも50周年を目指して、活動を続けていきます。
(高26回 松井賢一)

も魂をこめて務める。幸い体も達者で毎朝登庁すると8階まで階段を駆け上がり、更にスクワットを60回こなしている」と力強く挨拶。続いて36会会長花岡荘太郎君の発声で乾杯し、酒宴に入りました。クラスの境を越えて往来、懐旧話に花が咲くこと2時間。宴も酣をむかえたところで、徳永幸信君のリードにより校歌斉唱、「フレイフレイ長野」を声高らかにコールして終宴となりました。恙なき1年、誰ひとり欠けることなき来年の再会を約して散会。ある者は二次会、ある者は家路につきました。同期生の約半数が後期高齢に達した集いでもありました。
(宮川礼二)

高5回 長野北高校二八会総会

昭和28年に卒業し、64年を経過した本年度の総会は、9月8日(金)ホテルメトロポリタン長野に12時に集合し、参加者39名で開催された。

最初に記念撮影を行い、本年度の河原田實幹事の司会で始められた。まず、黄泉に旅立たれた8名に黙祷を行い、続いて倉石高英幹事の挨拶、伊藤治通会長の近況報告、そして来年度の幹事に、小林敬二さんと清水正昭さんが委嘱された。次に島田茂事務局長の会務報告では、東京部会が3月23日に銀座で開催されたこと、6月12日にはゴルフコンペが南長野ゴルフ倶楽部で開催されたこと、また、本会の会員状況は、今日まで連絡のとれている会員が249名、物故者が132名、不明が23名とのことであった。続いて小林康男会計担当と西村直吉監査委員から報告があった。そして宮川清副会長の乾杯で懇親会に入った。

高13回 36会

9月2日(土)、昭和36年卒業同期会「36会」がホテル国際21において、3・4組合同幹事により開催されました。出席者63名、最遠距離は淡路島から梅津利治君。4組鈴木臣和君(商船大卒)の船上で鍛えたであろう歯切れの良い司会によって開会。幹事を代表して宮澤秀樹より開会の辞。過ぐる1年、同期中4名が物故した旨報告があり、全員で黙祷を捧げました。

開宴に先立ち、春日英廣君(中央会会長)から「長野市長であり、金鶏会長となった同期の加藤久雄君の後援会を36会として正式に結成してはいかが」との発議があり、全員でこれを了承しました。これに応じて加藤君は「塚田、鷺澤両先輩から金鶏会会長を引き継いだ。三代続いて長野市長が同窓会長を務めることになった。両職と



高13回



を行いました。その後、ホテル国際21に移り、毎年恒例の「一休会篠原孝後援会」「一休会29年度総会」を行いました。8組恩師の宮崎眞先生の漢文の著書の紹介や、校歌に出てくる千曲川源流を訪ねて甲武信ヶ岳に登り、校歌を歌った会員の紹介の後、「一休会講演会」を行いました。この講演会は毎年一休会会員の中から講師を選定して行っているもので、今回は医療法人公生会竹重病院の竹重仁院長に「上手に老いるには」と題して講演してもらいました。

各テーブルごとに話が深まり、幾多の話題があがったが、主なものを列挙してみたい。まず身体的な変化で、視力や聴力が減退し思うように歩けなくなってきたこと、物忘れが多くなり、老後の健康生活に不安があること。楽しいことは孫と遊ぶこと、読書、野菜づくり、庭木の剪定、サークル活動への参加などがあげられた。また、過日北朝鮮のミサイル発射のJアラート発令では、太平洋戦争中に防空壕へ避難したことを思い出したこと。昭和39年の東京オリンピック大会では、ちょうど30歳の働き盛りで関心が持てず、今度の2020年東京オリンピック大会を楽しみにしていること。また、以前の総会で贈呈いただいた著書で、宮澤哲先生(国語科、3組担任)の「航路」、「余韻」や、巢山正春先生(化学4組担任)の「南砂随想」の中で北校奉職中の記事に感銘を受けたこと。二八会50周年(平成15年)には、会員の「心のまま、一言集」が刊行され、各自の生活体験が紹介され計り知れないものを知ったこと。

時間が過ぎるのも忘れた楽しい機会であった。また一層の絆を深めるよう、来年の総会参加を申し合わせ散会した。

(学年幹事 原 哲夫)

その後、卒業50周年記念式典を91名が集い実施しました。記念品として「卒業50周年」のロゴ入り帽子を作成配布しました。来賓に加藤久雄同窓会会長・桃林聖一同窓会事務局長・2組担任中尾順悟先生・5組担任宮澤孝先生をお招きし、それぞれの方からお祝いのお言葉をいただきました。一休会一同からは、同窓会館前の松枯れ病対策に役立てていただこうと、同窓会宛に20万円の寄附を行いました。

その後の祝宴においては、卒業時のクラスごとにテーブルを設定したため、懐かしい同級生同士の話で盛り上がっていました。最後には応援団リーダー5名が壇上に立ち「南下軍」「凱歌」そして校歌「山また山」をリードして、エールで締められました。来年の再会を約し、大いに盛り上がった卒業50周年の記念すべき1日となりました。

(一休会 北澤眞一)

高19回 卒業50周年記念同窓会

9月23日(土)、高19回卒業生の同窓会「一休会」卒業50周年記念行事が開催されました。午前11時に同窓会館を見学した後、善光寺大本願へ集合して、鬼籍に入った同期生49名と恩師4名の物故者法要

高14回 卒業55周年同期会

長高14回生(昭和37年卒)卒業55周年同期会は、9月、中秋を控えた26日(火)、長野駅前ホテルメトロポリタン長野に9クラスの98名が参集。

物故者が48人と1クラス分を超え、ねんごろな黙とうと校歌斉唱を行った。

出席恩師は林雅彦(英語、86歳)オンリーワン。サポート随行役の敦子夫人が冒頭からメインテーブルに座り、深紅のスーツで華を添





高14回

えた。「はじめての出席体験。新婚の新居を急襲した面々がいっぱい居て面白い。次回も出席したいので、よろしくね」の要請があった。このため「同期会は5年ごと開催のルールだが、次回は繰り上げ、3年後の喜寿の年に」と決まった。「次回、先生夫婦は黄色いペアドレスがいい」との冷やかしの声も。

基調報告では、幹事代表が「一線を卒業引退した年代になったが、会長、顧問、監査役、相談役…長老、ご隠居、小言幸兵衛という便利なポジションもある。課題山積の列島だが、信州出身、とりわけ長高出身者は高みからの展望が得意だ。「青空を舞うトンビの目線」でリーダーシップを執っていこう」としめくくった。

その後、「油や」等での二次会もかなり遅くまで賑わったようだ。
(徳竹康彰)

東海支部 2017年度総会

去る10月19日(木)に支部総会が開催された。参加者は42名で、この地域の大学に在学している学生も9名参加してくれた。最高齢は高校9回生で、お元気な姿を拝見することができた。また、今年は約10名の女性の参加者があり、とても賑やかに歓談することができた。

今年の目玉はなんと言っても、高校42回の峯村健二さんのマジックショーであった。彼は、高校時代にマジックサークルを立ち上げ、その後名古屋大学理学部でもマジック活動を継続し、現在プロとして活躍されているマジシャンである。2000年にはラスベガスやリスボンでの世界大会で優勝するなど、輝かしい実績があり、総会の直前にもアメリカでショーを行ったばかりであった。

こんな才人が高校の同窓生にいたとは、皆さんびっくりであった。当日はトークも含めて、彼のショーを大いに堪能した。なお、彼はショー活動の反面、名古屋でマジック関係のショップも経営している。

東海支部では2年おきに総会を開催しているが、皆さんからの希望もあり、来年度も開催することを計画しているため、この地域にお住まいの方は是非参加してください。
(高24回 和田 肇)

高9回 卒業60周年記念北ラス会

私達の北ラス会は、毎年2回東京と長野で開催している。今年は長野北高卒業60年ということで、60周年記念北ラス会として開催した。

実施期日を10月21日(土)・22日(日)とし、内容は善光寺大本願で物故者法要、松代温泉松代荘で北ラス会、そして松代地下壕、横田家等史跡見学とした。

6月1日、開催通知を発送した。その結果、東京をはじめ県外からの46名を含め84名から出席通知があった。

大本願での物故者法要は、御遺族3名を含め73名が出席し、厳粛なうちに恩師2名、会員65名の法要が行われた。

松代荘での記念北ラス会は、60年ぶり初参加の柴田孝則君を含め68名の参加。中村晴雄君の司会で、藤島幹事長の挨拶、東京北ラス会代表大島重利君の挨拶、そして山口県から出席の野口貞夫君の乾杯で宴は始まり、最後は校歌を大合唱し一次会は終了。さらに二次会に移り、10時30分まで続く大宴会となった。

しかし、翌日の史跡見学は台風21号の接近で風雨が強く、新幹線の運行が危ぶまれたため、22日朝急きょ中止をせざるを得なかった。



東海支部



高9回

それでも元気な会員は雨の中、自家用車等で史跡見学し、松代の町を見直したようだ。

79歳、これからも健康で頑張ろうを合言葉に別れを惜しんだ次第である。
(藤島淑男)

高17回 同期会

幹事クラス7組有志が、本年度の同期会は11月12日(日)、会場はホテルメトロポリタン長野と決定。9月下旬に案内ハガキを投函した。

当日は、首都圏、そして地元を含めて60名が集まり、同期会が開催された。本年は締め切り後、体調不良等によるドタキャンの件数が重なり年齢を思い知る同期会に…。

7組幹事団の指揮で写真撮影を行い、乾杯のあと大北森林組合事件について「法的課題等検討委員会」委員長として議論に参加した同期の碓井光明東大名誉教授の検討経過等のコメントを酒の肴として、同期会は長高時代に戻ったような雰囲気であった。

出欠返信のハガキで、ご家族からご逝去の報がある同期生も最近恒例となった。お互いの元気なことに感謝しつつ、近況報告をクラスごとに行うこととした。出席者一人ひとりが近況を述べて座は一段と盛り上がっていく。幹事の計らいで在学中の写真も用意され、当時の高校生活も懐かしく思い出すことができました。

そして、「山また山」を高らかに歌い上げ、次回幹事クラス8組へ引き継いで散会とした。8組出席者は即座に来年の開催日を決定したようす。

その後、親しい仲間たちでそれぞれ二次会へ…。 (佐藤友治)



高17回

回期別対抗ゴルフ・コンペ

同窓会主催のゴルフコンペが9月24日(日)長野カントリークラブにおいて、85名参加のもと新ペリア方式で開催されました。成績は下記の通りです。

- 個人優勝 上沢 修(高25) グロス87 ネット71.4
- 個人2位 河本 龍男(高18) グロス86 ネット71.6
- 個人3位 真篠 清人(職員) グロス91 ネット71.8
- 団体優勝 高25(上沢修・矢島茂・土屋勝久)
- 団体準優勝 高23(羽場謙一・宮島章・西澤定彦)
- 団体3位 高34(植松悦夫・服部俊直・船崎康正)
- 団体4位(高11)／団体5位(高12)／団体6位(高6)
- 団体6位(高20)／団体8位(高27)／団体9位(高18)



- 団体10位(職員)／団体11位(高24)／団体12位(高21)
- 団体13位(高22)／団体14位(高29)／団体15位(高4)
- 団体16位(高33)

市民大学事業特集

Science Cafe

金鷄会館サイエンスカフェ報告

◇金鷄会館サイエンスカフェ 9月9日(土)

群馬大学重粒子線医学研究センターセンター長であり、本校OBの中野隆史先生(高24回)をお迎えし「重粒子線治療の推進と放射線治療の国際展開」と題して、約2時間にわたりお話をいただきました。講演は、「放射線とは何か」などの話から始まり、「がんの重粒子線治療」について、がん治療の最先端の現況と今後の見通しを語っていただき、国内外での活動や交流の様子をお話してくださいました。今回の講演は、本校現役生徒16名を含め70名あまりの参加者がありましたが、わかりやすいお話に皆さん熱心に先生の話に聞き入っていました。最後に現役生徒へのエールとして、「一期一会を大切に。夢・情熱を持って進んでいってほしい」と熱く語られ、講演を締めくくられました。



◇金鷄会館アートカフェ「陶芸教室」 9月2日(土)・3日(日)・16日(土)

長野高校美術教室を会場に、初めて陶芸教室を企画致しました。講師には本校OBの小池知久先生(高50回・陶芸作家)ならびに長野高校美術教諭の恩澤謙一郎先生をお迎えし、3回にわたり実施しました。参加者は同窓生・PTA・現役生徒など12名。和気藹々と楽しく、時のたつのも忘れるほど集中して、手びねりでの作品に挑戦。来年もぜひ継続してほしいという意見が多数寄せられました。

古代史講座

公開講座

主催：科学研究費補助金(基盤研究(S))「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展一知の体系の構造伝来の解明」研究プロジェクト
協力：一般社団法人長野教育文化振興会

於 金鷄会館大講義室

続・古典を読むー歴史と文学ー「いま明かされる古代」シリーズ37

第1回 9月30日(土)

山梨大学大学院 教育学研究科 社会文化教育講座 教授 大隅 清陽 先生
「古代地域社会と遠距離交通」ー官道の開通がもたらしたものー

第3回 10月28日(土)

信州大学 人文学部 人間情報学科 歴史学講座 准教授 佐藤 全敏 先生
「国風文化研究の現在」ー東アジアのなかの平安時代ー

第5回 11月25日(土)

大阪大学大学院 文学研究科 文化形態論専攻 准教授 市 大樹 先生
「大化改新と難波長柄豊碓宮」ー宮から探る大化改新ー

第2回 10月21日(土)

山形大学 人文社会科学部 人間文化学科 准教授 十川 陽一 先生
「律令国家と官人たち」ーある人物から読み解く律令官人制ー

第4回 11月11日(土)

元宮内庁 京都事務所長・京都橋大学 非常勤講師 北 啓太 先生
「東大寺献物帳と正倉院宝物」ー献物帳をひもとく宝物を考えるー

続・古典を読むー歴史と文学ー「いま明かされる古代」シリーズ38&戦国

第1回 12月2日(土)

宮内庁 書陵部 陵墓課 陵墓調査室 陵墓調査官 徳田 誠志 先生
「世界文化遺産登録を目指す百舌鳥・古市古墳群」ーその価値と課題ー

第3回 1月20日(土)

早稲田大学 文学学術院 教授 川尻 秋生 先生
「古代の東国、中世の東国」ー東国観の変遷を追いかけるー

第5回 2月24日(土)

東京大学史 料編纂所 画像史料解析センター・中世史料部門 准教授 黒嶋 敏 先生
「武田氏滅亡と浅間山噴火」ー信長の將軍への道ー

第2回 12月16日(土)

東京大学 史料編纂所 古代史料部門 教授 田島 公 先生
「古代ミノの王領と東大寺領美濃国大井荘の起源」

第4回 2月3日(土)

東京大学 史料編纂所 中世史料部門 准教授 金子 拓 先生
「長篠の戦いと鳥居強右衛門」ー一礫の旗はいかに伝えられてきたのかー

池田満寿夫ギャラリー

金鷄会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。ぜひ、ご覧にお越しください。
(平日14時~17時、それ以外の時間は予めご連絡ください。)



結婚相談

ご希望の方は申し込み用紙を電話またははがきでご請求ください。
年齢、性別、学歴等は問いません。

TEL.026-235-3822 長野市上松1-16-12 長野高等学校同窓会 結婚相談室

寄贈図書



**働くときの法律
ウソ? ホント?**
著者 金井正元氏(高5回)



葡萄色の愛
著者 故池田満寿夫氏(高4回)
他2冊 高9回 匿名氏 寄贈



**池田満寿夫推理ドキュメント
これが写楽だ**
匿名氏 寄贈



**医療・福祉の総合情報誌
JAPAN MEDICAL SOCIETY
2016年6月号~11月号**
野村元久氏(高10回)寄贈



日本精神史
高きより高きへ
著者 上松佑二氏(高13回)



**RikaTan
理科の探検 10冊**
夏目雄平氏(高17回)寄贈



豊饒なる邂逅
戸谷邦弘さん遺稿
著者 故戸谷邦弘氏(長中43回)
酒井春人氏(高20回)寄贈



図説 穂高神社と安曇族
酒井春人氏(高20回)寄贈



**沖縄県尋常中学校
下国先生奮闘記
一中ストライキ事件**
著者 小山信二氏(高22回)



医学上より見たる酒害
小山信二氏(高22回)寄贈



**Next Market
食品企業の
グローバル戦略**
著者 新井ゆたか氏(高33回)



食品企業 飛躍の鍵
グローバル化への挑戦
著者 新井ゆたか氏(高33回)



**古代天皇家と
『日本書紀』1300年の秘密**
応神天皇と「日十大王」の隠された正体
著者 仲島 岳氏(高39回)



丸田芳郎
たゆまざる革新を貫いた
第二の創業者
著者 佐々木聡氏 寄贈

ご寄付をいただきました。

ありがとうございました。

◆「緑の基金」として、さっそく、各方面から募金をいただいております。

- | | | | |
|------|------|-----------------|----------|
| (団体) | 高6回 | | 2万円 |
| | 高19回 | 卒業50周年記念寄付金 | 20万円 |
| | 高19回 | 応援団有志寄付金 | 15万円 |
| | 高29回 | 卒業40周年記念寄付金 | 25万円 |
| | 高39回 | 卒業30周年記念寄付金 | 6万8,300円 |
| (個人) | 高10回 | 野村元久氏 | 10万円 |
| | その他 | 3名 | それぞれ1万円 |
| | | 同窓会回期別ゴルフコンペ参加者 | 5万8,100円 |



高19回



高19回応援団



高39回

◆高49回(卒業20周年)の皆様より10万6,000円のご寄付をいただきました。

今年度卒業予定の現役3年生の卒業証書入れ購入の資金として使わせていただきます。



高29回



高19回応援団



高49回

平成29年度同窓会費(3,000円)のご送金をお願い致します。

今年度の会費未納の方に振込用紙を同封いたしました。
ご協力をお願いいたします。

送金方法

- ①同封の振込用紙を使う
→手数料は事務局負担になります。
- ②インターネットバンキングやATMによる振込
→手数料を引いてお振込みいただいても構いません。
振込人氏名に回期をご記入ください。

長野高校吹奏楽班 OB・OG第49回定期演奏会

日時 平成30年3月31日(土)
13:30 開場 / 14:00 開演
会場 長野市芸術館 メインホール 入場無料
曲目 ヨハン・シュトラウス2世/春の声
A.リード/春の猟犬、アルメリアン・ダンス パートI ほか
皆様のご来場を心よりお待ちしております。



長野高校創立120周年 2019年に向けて

再来年、長野高校は創立120周年を迎えます。今年の学年幹事会の承認を経て、いよいよ実行委員会が組織されました。構成は同窓会・PTA・学校職員からになります。この委員会で、企画内容が検討され、来年度早々から募金活動や事業活動に入りたいと考えておりますので、ご協力よろしくご協力をお願い申し上げます。